外国人学習者による古典日本語の現代語訳

―形容詞の分析―

山　口　真　紀

Ⅰ　はじめに

外国人日本語学習者の中には，古典日本語によって書かれた文献の読解を必要とする者がいる．主に日本に関する研究の分野で，古典日本語で書かれた文献を用いた研究を行う大学生，大学院生，研究者などである．研究の過程で古典日本語文献読解を必要とする学習者の総数について正確なデータはない[1]が，日本文学，歴史学はもちろん，建築学，哲学，法学，ジャーナリズム等古典日本語で書かれた文献を資料として扱う分野は幅広く，該当する学習者は多いはずである．にもかかわらず，この分野の先行研究は限られており，国内で開発された教材も非常に少ない．日本人学生は中学・高校の国語教育を通し，基礎的な古典日本語知識を習得する．しかし，国内大学・大学院で研究を行う外国人学習者の中には，古典日本語に関する基礎的な教育を受けるチャンスがないまま，独学・チューターによって研究活動を行う者が存在する．このような学習者にとって，どのように日本人学生と同レベルの読解技術を身につけるかは，緊急性を持った課題となる．本研究では，古典日本語文献を用いた研究活動において資料の内容理解に不可欠な現代語訳という活動に焦点を当て，第二言語として現代日本語を学んだ外国人学習者によって実際に作成された現代語訳を質的・量的に分析し，そこに現れた日本語教育の影響について考察する．

Ⅱ　研究の意義と先行研究との関連

研究の過程で古典日本語文献読解を行う外国人学習者への古典日本語教育の必要性は，鈴木（1995）においても指摘されていたが，佐藤（2004）が指摘するように外国人学習者を対象とした体系的な古典日本語教育のシラバス，教授法は確立されていない．日本語教育の一環として留学生対象に古典日本語文献を扱った授業の報告[2]は個別にあるが，研究者レベルの外国人学習者を対象としたものは少ない[3]．

---

1)　坂内（2004）の東京大学人文社会系研究科における調査では，在籍する留学生全体の半数以上が古典日本語で書かれた文献を読む必要があることが報告されている．

2)　過去の報告については串田（2015）に詳しい．

3)　立松（2000），金山（2004），串田（2015）等のアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターの一連の報告がある．

山口・武井（2015a）では，国内において研究レベルで古典日本語文献読解を行う外国人学習者を対象に学習経験インタビュー調査を実施し，学習者が抱えている困難点について調査した．結果，教師による導きがない状況で，独学や勉強会，チューターに頼り，個人的努力の下，古典日本語読解を行い研究活動を行う学習者の実態が明らかになった．Yamaguchi & Takei（2015b）では更に対象者を広げ調査を行い，外国人学習者の古典日本語学習形態を「教育機関教育型」,「勉強会･チューター型」,「独学型」の三つに分類[4]した.「勉強会・チューター型」,「独学型」は，特に国内大学・大学院所属者中心に確認された．このような教師不在の学習形態においては古典日本語の現代語訳は資料の内容理解に不可欠な要素である．各形態別に現代語訳は以下のように使用されていた．

・「教育機関教育型」…研究の際に現代語訳された資料を用いた（原典資料が手に入らなかったため）／本文を現代語訳し，それをさらに母国語訳する課題を課された／本文を母国語に訳す際，現代語訳を参考にした

・「勉強会・チューター型」…原文を現代語訳し，内容を日本人（チューター･勉強会の先生役の学生）にチェックしてもらう

・「独学型」…原文の現代語訳を作成した後に母国語訳を作成し，内容を理解する／自分で現代語訳を作成し，書籍に掲載されている現代語訳と比較する

外国人学習者にとって古典日本語の現代語訳は，原文についての解釈が正しいかを自分でチェックするため，そして，原文についての解釈が正しいかを日本人にチェックしてもらうために用いられていることが分かる．本属が海外の大学院で，そこで母国語・英語によって研究活動を行っている協力者からは，現代語訳という作業を経ずに原文を直接母国語訳する事例も確認されたが，国内大学所属の協力者は，使用する書籍や指導教員とのコミュニケーションも含め研究活動は全て日本語で行っており，古典日本語文献の解釈や内容確認は現代日本語によって行われていた[5]．このような場合，現代語訳は学習者が研究活動を行う上で避けて通ることはできないものである．

古典日本語の現代語訳は，一般的な現代日本語の表現と比べると不自然さが感じられるということが一般的に言われるが，この点について鈴木（2006）は現代語訳を「古文（＝原文）と現代日本語の中間に在って，その橋渡しをする文体」と定義した上で,「必ずしも純粋な日本語ではないという意味において，それは一種の『中間言語[6]』といってよいだろう」と述べ，その理由として,「原文の文法的構造を眺めながら，それに対応する現代語で忠実に書かれているから」だとしている．また，留学生対象ク

---

4)　各学習形態の詳細は以下のとおりである．
・教育機関教育型：大学や大学院のカリキュラムに沿って授業に出席し，教科書を用いて教師と共に学ぶ．
・勉強会・チューター型：学生チューターまたは，学生主催の資料読解勉強会への参加を通し，直接原典を読む．
・独学型：インターネットや書籍を通して独学を行う．

5)　インタビューでは，国内大学院入試の試験問題として古文・漢文の現代語訳が出題されるという話もあった．

6)　鈴木（2006）は「中間言語」の例として『徒然草』第一段の以下のような表現（下線部）を挙げる．このような表現は，中高生や外国人が読む際に違和感を覚えるのではないかと指摘している．
いでや，この世にうまれては，願はしかるべき事こそ多かめれ．
→いやもう，（人間たるものは）この世に生まれて来たからには，（あああありたい，こうありたいと）<u>当然願わしく思うであろう事こそ多くあるようだ．</u>

ラスで『源氏物語』の現代語訳，英語訳を用いた実践を報告した森（1998）は，現代語訳という作業について「同じ言語でありながら千年の歳月の間に意味にずれが生じた多くの言葉をなるべく本来の意味に立ち返って，それを現代の日本語の中に生きている言葉として，それも最も意味の近い言葉を探るようにひとつひとつ再度置き換えていく作業」であると述べ，古典日本語語彙の意味を現代日本語で記述する難しさを指摘している．このように，古典日本語の現代語訳は現代日本語によって書かれてはいるが，日常生活で用いられる現代日本語とは性質を異にしているため，学習者が現代語訳を参照，または作成する際には，現代語訳の特質を理解する必要がある．この点について，鈴木（2006）は，注釈書や参考書において「どのようにしてそこにある現代語に置き換えたらいいのか説明されない」ことが学習者にとって問題になると指摘している．

Ⅲ　研究目的と研究課題

以上のことから，現代語訳は外国人学習者にとって研究遂行上不可欠な要素であり，かつ学習上の難しさが存在していることがわかった．外国人学習者の現代語訳にかかわる先行研究は，森（1998）の日本研究を専攻する研修留学生を対象にした日本文学教授についての実践報告がある．森は，『源氏物語』の一部を，原文・現代語訳→英語訳の順に学生に提示し，この英語訳を現代日本語に新たに書き換えさせ（日本語による再翻訳を行う），学生の言葉による新たな現代語訳を完成させるという実践を行った．また，古典日本語文法を学ぶクラスの試験問題として出題された助動詞の訳出問題の解答（日本語訳）を，誤答を中心に分析した春口（2007）の研究がある．しかし，いずれも対象者は日本研究や古典日本語に何らかのかかわりを持つ学生であり，外国人日本語上級学習者一般を含んだ調査・研究は未だなされていない．日本語上級学習者を対象に古典日本語を現代語訳する調査を行い，そこで記述された訳語の特徴を分析し，誤訳の傾向を示すことは，外国人学習者の現代語訳作成，及びその理解を支援するための有益な情報となるのではないか．

上記を目的とし，本研究では古典日本語学習経験がある学習者とない学習者を対象に，古典日本語文献の一部を現代語訳する調査を行い，結果を量的・質的に分析する．現代語訳には，構文や助動詞，名詞など注目すべき項目は多く存在するが，今回は対象を形容詞[7]に絞った．外国人学習者が古典日本語形容詞を現代語訳する際に，正しく訳出された語，されなかった語の特徴と誤訳の傾向を明らかにする．

7)　形容詞は国内の国語教育（古典）において，いわゆる「古文単語」として学習参考書や書籍で重点的に取り上げられている．『高校生のための古文キーワード 100』鈴木日出夫著（2006）でも，形容詞の重要性が指摘されている．

Ⅳ　方法

1　対象者

対象者は日本語能力試験 N1 相当の能力を有する者[8] 27 名である．うち 15 名は古典日本語学習の経験があり，12 名はその経験がない者である．協力者の国籍は韓国，中国，オランダ，エジプト，ドイツ，ロシア，台湾である．

2　現代語訳調査

『高等学校新訂国語総合―古典編』（第一学習社）の『竹取物語』「かぐや姫のおひたち」の一部を読んで現代語訳する調査を行った．『竹取物語』の冒頭部分は多くの高等学校国語教科書に採用され，入門期の教育に使用されている．古典日本語学習の未経験者にまとまった内容の文章をすべて現代語訳することは負担が重く，大部分が未回答となる可能性が考えられたため，下記の 4 点に留意して現代語訳する部分をあらかじめ限定した[9]．さらに全体を通して話の筋が追えるよう，現代語訳対象外の部分については『新編日本古典文学全集』および，宮腰（1985）を参考に現代語訳を付した調査用紙を作成した．

・できるだけ多様な品詞が含まれる部分を採用する．
・現代語に全く存在しない語（意味語）が含まれる部分，一文の中で主語の入れ替わりや極端な主語の省略があるなどの文構造が複雑な部分は，採用しない．
・話題転換や場面転換にかかわる部分は，それをまたぐ形で採用しない．
・一度に現代語訳する個所は，連続 3 文までとする．

また，本文の表記は『高等学校新訂国語総合―古典編』に従ったが，漢字のふりがなについては対象が外国人学習者であることを考慮し，筆者の判断で適宜追加をした．また，語義の理解に歴史・文化にかかわる知識を必要とする語[10]については『高等学校新訂国語総合―古典編』,『新編日本古典文学全集』及び，宮腰（1985）を参考に適宜注を付けた．

調査を開始する前に歴史的仮名遣いと用言の活用（現代語との違い）を簡単に説明した．また，回答に際し辞書類の使用は不可とした．調査時間は 20 分間で，監督者が調査用紙を配布し，回収する形を取っ

---

8)　原則として N1 取得者を対象とした．JLPT の受験経験はないが，人文社会系大学院に在籍し日本語による日本研究を行っている者については筆者が簡単な面接を行い，N1 相当として認められるものについては協力者に含めた．

9)　調査対象となった部分を以下に示す．
1．あやしがりて寄りて見るに，筒の中光りたり．それを見れば，三寸ばかりなる人，いとうつくしうてゐたり．
2．妻の女にあづけて養はす．うつくしき事かぎりなし．いとおさなければ篭に入れて養ふ．
3．心地あしく，くるしき時も，この子を見れば，くるしき事もやみぬ，はらだたしきことも慰みけり．
4．竹を取る事ひさしくなりぬ．
5．いとかしこく遊ぶ．

10)　「髪上げ」,「裳」,「帳」など．

た．ただし，遠方の協力者については事前説明の内容を文書化したものとともにメールにて調査用紙を送付し，回答を得た．

3　分析方法

調査対象個所から形容詞「あやし[11]」，「苦し」，「腹立たし」，「うつくし」，「をさなし」，「かしこし」，「限りなし」，「久し」，「あし」の9語を抽出した．協力者作成の現代語訳から，これらの語に相当する部分を抽出し，『新編日本古典文学全集』，『古語辞典』（旺文社），宮腰（1985）の現代語訳と照合した．そして，各語について正しく訳出された率（以下，「正訳率」）を算出した．ここで言う「正訳」とは，先行研究で述べた現代語訳の性質に照らして，協力者によって書かれた記述を具体的に以下の3点に基づき判断した．協力者が対象となる古典日本語の意味を明確に理解したうえで訳出したかどうかまで問うものではない．また，判断は形容詞を含む文全体の文意が正しくとれているかどうかには関係なく，対象の形容詞についての現代語訳のみを対象に行った．

1．『新編日本古典文学全集』，宮腰（1985）で採用されている現代語訳と一致しているか．

2．『新編日本古典文学全集』，宮腰（1985）の語釈の内容と一致しているか．

3．『古語辞典』（旺文社）で規定されている意味[12]と一致しているか．

各語について，協力者が作成した現代語訳を質的に分析した．これらの結果をもとに形容詞のグルーピングを行い，学習経験の有無と各グループの正訳率について分散分析を用いて検討した．

Ⅴ　結果

1　正訳率

調査結果に基づく各語の正訳率を表1に示す．「苦し」と「うつくし」については，本文中に同じ意味で2回出現するがどちらか一か所が正しく訳出されていれば，正訳としてカウントした．対象の語について訳出がなされていない（未回答）場合は誤訳としてカウントした．

表1　形容詞別の正訳率

対象語	経験者	未経験者	総合
苦し	100.0%	100.0%	100.0%
あやし	80.0%	83.3%	81.5%
腹立たし	86.7%	75.0%	81.5%
久し	46.7%	58.3%	51.9%
あし	46.7%	41.7%	44.4%
限りなし	20.0%	25.0%	22.2%
をさなし	20.0%	16.7%	18.5%
うつくし	20.0%	8.3%	14.8%
かしこし	6.7%	0.0%	3.7%

結果，①高い正訳率を示した語（正訳率80％以上の語．「苦し」，「あやし」，「腹立たし」）と，②低い正訳率を示した語（正訳率が20％未満の語．「をさなし」，「うつくし」，「かしこし」），そして，③中間に当たる正訳率を示した語（正訳率が①，②の中

11）「あやし」は本文では「あやしがる」の形で現れる．「あやしがる」で一語とする区別もあるが本稿では形容詞「あやし」に接尾辞「がる」が接続した形として取り上げた．

12）ここには様々な時代の意味・用法が掲載されているが，判断に際し，作品の時代背景，文脈を考慮した．

間の語.「久し」,「あし」,「限りなし」）に大別できた.

2　実例の分析

以下，これらの各グループに属する実例を検討する.

①高い正訳率を示した語（正訳率 80％以上の語.「苦し」,「あやし」,「腹立たし」）

ここに属する語全体の正訳率は 87.7% で，高かった．誤訳に相当したものは，全て該当部分の現代語訳を書いていないもの（未回答．12.3％）であった．実際の例を以下に示す.（下線筆者．○は正訳，×は誤訳を示す.）

・あやし

本文：あやしがりて寄りて見るに，筒の中光たり.

現代語訳：あやしく思って寄ってみたら，筒の中が光っていた.（○）

・苦し

本文：この子を見れば，苦しきこともやみぬ

現代語訳：この子を見ると，苦しいこともやんで（○）

・腹立たし

本文：腹立たしきことも，慰みけり.

現代語訳：腹が立つようなことがあっても慰められた.（○）

これらの語は，古典日本語から現代語への移行が形式上容易（苦し→苦しい）であり，さらに古典語の意味がそのまま現代語に引き継がれているため，正訳率が高くなったと考えらえる.

②低い正訳率を示した語（正訳率 20％未満の語.「をさなし」,「うつくし」,「かしこし」）

ここに属する語全体の正訳率は 12.3％で，低かった．この 3 語は現代語にも相当する語があり，形式上移行は容易であるが，本文における意味が現代語の意味とは異なっている．それぞれ「小さい」,「かわいらしい」,「盛大に」となるため，現代語を現代語訳にそのまま使用することはできない．現代語をそのまま書いた誤訳が全体の 44.4% であった．以下に例を示す.

・うつくし

本文：三寸ばかりなる人，いとうつくしうてゐたり.

現代語訳：三寸ぐらいの美しい人がいた.（×）

・をさなし

本文：いとをさなければ籠に入れて養ふ.

現代語訳：とても幼かったので，かごに入れて養う.（×）

・かしこし

本文：いとかしこく遊ぶ.

現代語訳 a：とても賢く遊ぶ.（×）

現代語訳 b：とてもたのしく遊ぶ.（×）

「かしこし」の現代語訳 b のように，本文の形容詞の形からは想像しにくく，意味からも関連が見いだせない，全くの別語が訳語として当てられているもの[13]（18.5％）もあった．文脈から判断して現代日本語の意味を採用するのは不適切であると判断し，文脈に沿う意味を考えた結果であると推測される．

③中間の正訳率を示した語（正訳率が①，②の中間の語．「久し」，「あし」，「限りなし」）

ここに属する語全体の正訳率は 39.5％であった．「久し」と「限りなし」については，現代語で「久しい」と「限りない」が存在し，意味も現代語に引き継がれている[14]．また，「あし」も「悪しき因習」，「善し悪し」のように現代でも「悪い」という意味での使用例があるため，これらの語の正訳率は高いと予想された．しかし，このグループは対応する現代語形容詞とは異なるさまざまな語が訳語として選ばれており，それらが全体の 39.5％ を占めた．前述の二つのグループにおいて現代日本語に形式上対応する形容詞がそのまま訳語として用いられる傾向があったこととは対照的な結果である．以下に実例を示す．

・久し

本文：竹を取ること久しくなりぬ．

現代語訳 a：竹を取ることが久しくなった[15]．／竹を取ることが長く続いた．（○）

現代語訳 b：久しぶりに竹を取った．（×）

・限りなし

本文：うつくしきこと限りなし．

現代語訳 a：限りなくうつくしい．（○）

現代語訳 b：いい事とは限らない．（×）

・あし

本文：心地あしく，苦しき時も

現代語訳 a：心地が悪く，苦しい時も（○）

現代語訳 b：うれしく，苦しい時も（×）

「久しい」，「限りない」については，「久しぶり（６例）」，「限らない（２例）」のように形式上類似している別語の使用が確認された．さらに「あし」については，ここに示した「うれしい（２例）」の他に，「いい（１例）」，「喜び（１例）」のような正反対と考えられる語義を持つものも確認された[16]．形式も，意味も現代語に相当する語があるにもにもかかわらず，それが正訳率に反映されない結果となった．

13) ここに示したものの他に「かしこし」には「いろんなものを使って」，「かわいく」等，「をさなし」には「安全」，「元気に」等があった．「うつくし」にはこのような例はなかった．

14) 「うつくしきこと限りなし」は宮腰（1985）では，「かわいらしいことはこのうえもない」と現代語訳されているが，今回の調査ではこの例はなかった．

15) この表現は宮腰（1985）の現代語訳に採用されている．

16) ここに示したものの他に「限りなし」には「～だけだ」，「かなり」等があった．「あし」には「うれしい」，「よくない」があった．また，「久し」には，「たまに」，「昔」等があった．

3　形容詞のグループと正訳率，学習経験の有無との関係

3．1　形容詞のグループ分け

上記の結果で注目すべきは，現代語と形式も類似していて意味が同じであるにもかかわらず，正訳率が高くなかった三つめのグループの語である．このグループには,「久し」を「久しぶり」としたり,「限りなし」を「限らない」とする例があった．これらは，外国人学習者対象の日本語教育では，学習の初期で導入される基本的な表現・文型である．協力者は，第二言語として現代日本語を学んでいる日本語学習者であるため，彼らが作成した現代語訳には日本語教育を通して得た知識が影響しているのではないかと考えた．日本語教育における学習語彙についてのリストは個別にいくつか存在しているが，一つの基準とされるものとして旧『日本語能力試験出題基準』[17]（以下『出題基準』とする．）がある．これを用いて，各形容詞の現代語に当たる語の該当級を調べた．表１をグループ別に並べ替え，現代語形容詞の旧能力試験級を記入し，整理したものが表２である．

表２　形容詞グループと旧日本語能力試験級

グループ	対象語	現代語	旧能力試験級	経験者	未経験者	総合
1	苦し	苦しい	2	100.0%	100.0%	100.0%
	あやし	あやしい	2	80.0%	83.3%	81.5%
	腹立たし	腹立たしい	2	86.7%	75.0%	81.5%
2	をさなし	おさない	2	20.0%	16.7%	18.5%
	うつくし	うつくしい	3	20.0%	8.3%	14.8%
	かしこし	かしこい	2	6.7%	0.0%	3.7%
3	久し	久しい	1	46.7%	58.3%	51.9%
	あし	あしい[18]	級外	46.7%	41.7%	44.4%
	限りなし	限りない	級外	20.0%	25.0%	22.2%

なお,「腹立たし」は現代語では「腹立たしい」が相当し，これは『出題基準』には掲載されていないため級外相当となる．しかし，今回の調査では現代語訳として「腹が立つような」としたものが複数存在し，これも同義ととらえ「正訳」とした．『出題基準』では，いわゆる慣用表現の類は掲載されていないが,「腹」は２級,「立つ」は４級に相当する．よって，今回の分析においては「腹立たし」は２級相当とした．結果，各グループの形容詞には以下のような特性があることが分かった．

・グループ１：現代語訳の際に，形の上で古典日本語形容詞の現代語にあたる語を現代語訳にそのまま使用できるもので，旧日本語能力試験２級以下（中上級）の語．
「苦し」,「あやし」,「腹立たし」

17)　これは，現行の日本語能力試験には対応していないが，日本語教育における学習語彙を規定するものの一つとして現在も参考にされている．なお，現行の日本語能力試験（JLPT）では，語彙について出題の基準は非公開となっている．

18)　松下（2011）では,「悪しい」を見出し語として立てている．

・グループ２：現代語訳の際に，形の上で古典日本語形容詞の現代語にあたる語を現代語訳にそのまま使用できないもので，旧日本語能力試験２級以下（中上級）の語.
「をさなし」,「うつくし」,「かしこし」

・グループ３：現代語訳の際に，形の上で古典日本語形容詞の現代語にあたる語を現代語訳にそのまま使用できるもので，旧日本語能力試験１級以上（上～超上級）の語.
「久し」,「あし」,「限りなし」

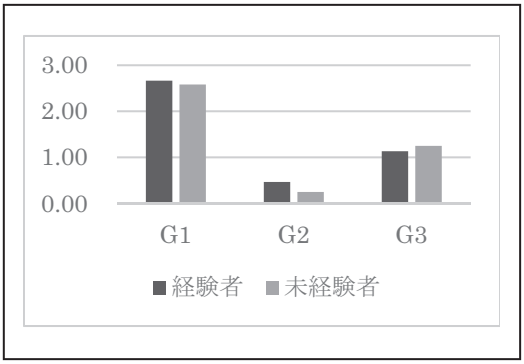
３．２　形容詞グループ別正訳数の数量的分析

本調査における形容詞グループの正訳数についての記述統計量を表２に，正訳数の平均を図１に示した．正訳数について２（学習経験）×３（形容詞グループ）二要因分散分析を行った．学習経験は被験者間要因，形容詞グループは被験者内要因であった．その結果，形容詞グループ要因の主効果は有意であったが（$F_{(2.25)}$=86.45, p=.00），学習経験の主効果は有意でなく（$F_{(1.25)}$=0.10, p=.66），交互作用も有意ではなかった．形容詞グループ要因の主効果へのライアン法による多重比較の結果，形容詞グループ１の正訳数がグループ２とグループ３より高く，形容詞グループ３の正訳数がグループ２より有意に高かった．以上の結果から，グループ１＞グループ３＞グループ２の順に正確な訳出がされやすいことが示唆された．また，形容詞の現代語訳には学習経験の有無によって影響が見られないことがわかった．

表３　形容詞グループ別正訳数の平均と標準偏差

形容詞グループ		学習経験	
		有	無
1	*M*	2.67	2.58
	SD	0.47	0.64
2	*M*	0.47	0.25
	SD	0.62	0.43
3	*M*	1.13	1.25
	SD	0.88	0.92

図１　形容詞グループ別正訳数の平均



Ⅵ　結論と展望

以上，外国人学習者対象に行った古典日本語文献の現代語訳調査の形容詞に注目して分析を行った．学習者作成の現代語訳の正訳率を調べた結果，80％以上の高い確率で正訳した語群，20％未満の低い確率で正訳した語群，その中間の正訳率の語群の，三つのグループが存在していた．これらの実例を分析した結果，日本語教育における学習内容が影響していると考えられる表現が確認されたため，『出題基準』

をもとに，それぞれの語に対応する現代語形容詞の旧日本語能力試験級を調べたところ，グループ別に語の難易度に違いがあることがわかった．各形容詞グループと学習経験の有無との関連を，分散分析を用いて検討した結果，現代語訳の際に形の上で古典日本語形容詞の現代語にあたる語を現代語訳にそのまま使用できるもので，旧日本語能力試験２級以下の語（グループ１），現代語訳の際に，形の上で古典日本語形容詞の現代語にあたる語を現代語訳にそのまま使用できるもので，旧日本語能力試験１級以上の語（グループ３），現代語訳の際に形の上で古典日本語形容詞の現代語にあたる語をそのまま使用できないもので，旧日本語能力試験２級以下の語（グループ２）の順に正しく訳出されやすいことが分かった．また，学習経験の有無は，正訳率に影響を与えていないことが分かった．

以上の分析から，外国人学習者によって作成される古典日本語形容詞の現代語訳には，正確に訳出されやすいものとされにくいものがあることが示唆された．これには，形式，意味の点からの現代語との類似の度合いが影響していると考えられる．現代語訳の対象となる語が現代語と形式も類似していて意味も同じであれば，学習者がその古典日本語形容詞の意味を熟知しているかどうかにかかわらず，結果的に正訳率が高くなることは予測できる．反対に，現代語訳の対象となる語が現代語と形式も類似しているにもかかわらず，意味が異なるものについて，正訳率が低くなることも予測できる．しかし，今回の分析では，現代語訳の対象となる語が現代語と形式も類似していて，意味が同じであっても，正訳率が高くない語群（グループ３）が存在していた．これらに相当する現代語の旧日本語能力試験級に着目すると，「久しい」は１級，「限りない」と「あしい」は級外相当であることが分かる．現代日本語語彙そのものが，外国人学習者にとっては難易度が高い，すなわち学習語彙としての優先度が低く，導入の時期が遅いものであると言える．また，現代語訳の際に，「久し」を「久しぶり」とし，「限りなし」を「限らない」とする例が確認された．これは，意味の点からも品詞の点からも異なる別語であるが，これらの表現は日本語教育では初級から中級にかけて導入[19]される，外国人学習者にとってはなじみのある表現である．以上のことから考えると，第二言語として現代日本語を学んだ学習者にとっては，単に対象とする古典日本語形容詞が現代語と形式・意味が類似しているかどうかだけではなく，日本語学習語彙という視点から，対象とする語が初期の段階でかなり高い確率で出会う語なのか，日本語学習の過程で出会う可能性が低い語であるのかが影響してくると考えられる．現代語の語そのものの日本語教育上の難易度が高い場合は訳語として選ばれにくく，さらに，そのような語について日本語教育において早い段階で導入される語や表現に形式上類似したものがある場合は，学習者はよりなじみのあるものに引きずられる可能性があると言える．古典日本語形容詞を現代語訳する際には，相当する現代語形容詞との形式，意味の関連性に加え，対象となる現代語形容詞の日本語教育における難易度，さらには，現代語と古典日本語間で直接の対応関係はなくとも形式上類似している語や表現について，日本語教育における学習段階をも考慮する必要性が示唆された．対象が外国人学習者である場合は，「古典日本語と

19)「久しぶり」は『みんなの日本語Ⅱ』（スリーエーネットワーク）では 48 課，『げんき１』（Japan Times）では 11 課で表現として取り上げられている．「～限らない」は『中級日本語』（東京外国語大学留学生日本語教育センター）15 課で文型として取り上げられている．

現代日本語」という対応関係から一歩進んだ，「古典日本語と第二言語としての現代日本語」という対応関係を意識していくことが有益であると考える．

今回の調査では，分散分析の結果，学習経験の有無によって形容詞の現代語訳には影響が見られないことが示唆された．これについては「学習経験」の内容の影響があると推測される．今回の調査では，現代語訳調査実施の際に古典日本語の学習経験について「ある・ない」で記述してもらったが，その際「学習経験」の内容については深く尋ねなかった．「経験あり」の協力者には，Yamaguchi & Takei（2015b）で確認された，「チューター・勉強会型」，「独学型」の学習者が含まれている可能性がある．これらの学習者の学習内容については，個人間で差があり，不明な点が多い．このような学習者の入門期学習の内容も含めて，今後改めて検討する必要がある．

Ⅶ　おわりに

本研究では，外国人学習者が作成した古典日本語形容詞の現代語訳について，その特徴と傾向を分析した．今後動詞，名詞，助動詞等へ分析の対象を広げ，外国人学習者による現代語訳の全体像について考えていきたい．

付記

本研究は平成 26 年度田島毓堂語彙研究基金の助成を受けて行われた．

参考文献

足立幸子（2003）『古文入門』大阪外国語大学留学生日本語教育センター
片桐洋一・高橋正治・福井貞介・清水好子（1994）『新編日本古典文学全集（12）竹取物語　伊勢物語　大和物語　平中物語』小学館
金山泰子（2004）「上級学習者のための文語文法入門―実践報告と今後の課題」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』27, 41-62.
河上志貴子（2011）「日本人学生と外国人留学生の共学による実績と課題点の考察」『京都大学国際交流センター論考』1，73-94.
串田紀代美（2015）「ゼロから始めるくずしじ学習―メタ認知を促す学習支援と評価分析―」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター教育研究年報』4, 71-95.
国際交流基金（1994）『日本語能力試験出題基準』凡人社
佐藤勢紀子（2014）「留学生を対象とする古典入門の授業―日本語学習者のための文語文読解教材の開発を目指して」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』9, 99-113.
白石恭子（1997）「外国人への古典文法の指導」『国文学解釈と鑑賞』62（7），181-185.
鈴木泰（1995）「古典語と日本語教育」『国文学解釈と鑑賞』60　至文堂 , 139-144.
鈴木日出男（2006）『高校生のための古文キーワード 100』ちくま新書　筑摩書房 , 3-4.
鈴木義昭（2006）「中間言語としての古文の現代語訳―『徒然草』例として―」早稲田大学日本語教育センター紀要 19, 33-44.
立松喜久子（2000）「文語文法を教える外国人上級学習者のための古典入門授業」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』23, 1-24.

東郷克美・井伊春樹（2014）『高等学校新訂国語総合 古典編』第一学習社 , 14-16.
春口淳一（2007）「非母語話者が古典日本語文法を学習する際の問題点―現代日本語訳におけるミステイク分析から」『長崎外大論叢』11，109-122.
坂内泰子（2004）「留学生と文語文読解の必要性」『神奈川県立短期大学紀要総合篇』27, 59-74.
深沢愛（2013）「外国人留学生の文語文法・古語学習について考える（1）―文語助動詞の場合」『近畿大学文芸学部論叢』25，128-114.
松岡弘（2001）『一橋大学学術日本語シリーズ 7 学術日本語の基礎（二）近代文語文を読む』一橋大学留学生センター
松下達彦（2011）「日本語を学ぶ人のための語彙データベース」The Vocabulary Database for Learners of Japanese Ver. 1.0（for General Learners）http://tatsuma2010.web.fc2.com/
宮腰賢（1986）『古文の基礎』旺文社 , 69-71.
森眞理子（1998）「VIII 日本文学教授の方法について :『源氏物語』現代語訳及び翻訳を素材とした教授の一例」『研究報告』3, 146-155.
山口真紀・武井直紀（2015a）「外国人学習者の古語・文語学習における困難点―研究の過程で古語・文語文献を扱う留学生・研究者へのインタビュー調査から―」第 17 回専門日本語教育学会研究討論会誌 , 20-21.
Yamaguchi Maki, Takei Naoki（2015b）'Non-native learners and researchers who work with classical Japanese language and texts: difficulties and learning styles', JSLS 2015 The 17th Annual International Conference of the Japanese Society for Language Sciences, conference handbook, 22-25.